

【i-スマ】2026年度DX事業提案会

東芝 電子レシートサービス × DeSCヘルスケア 健康支援アプリ連携

「食生活の意識・行動変容」の実証事業

株式会社東芝

DeSCヘルスケア株式会社

2026.6.30

概要

- 一宮市民の**生活習慣病リスク対応**として、食生活改善を目的に、**購買行動へ介入**する。
- 健康支援アプリkencom**を活用し、一宮市民の**購買行動の特徴**（他エリアとの比較）を配信する。
- 配信は、記事化し、具体的な**食生活改善を提案**し、アンケートで、**情報配信の有効性**を確認する。
- 次年度以降、**個人の課題に沿った購買行動への介入**に繋げる。

一宮市の健康課題（健診データ）

男女とも「**腹囲**」「**中性脂肪**」「**収縮期血圧**」有所見者割合が、県・国より高い。

国保特定健診データ（令和6年度）より

購買データ分析（電子レシートサービス）

エリア毎の**特定カテゴリ**（野菜・味噌・醤油など）の世帯単位の**購買データを分析**

東芝電子レシートサービス購買データより



今年度の実施概要：kencomでの情報配信（Lv1）



1 データで気づきを提供

（例）「一宮市民は野菜摂取が少ない」等、地域の購買傾向をグラフ等で配信

2 食事（レシピ）提案

（例）減塩・野菜たっぷりの簡単レシピを記事で紹介

3 購買行動への誘導

推奨商品（例：減塩商品）の購買促進

アンケートで効果測定

購買行動の意識変容効果を確認

次年度以降の実施概要

令和9年度（Lv2） 個人ID連携によるインセンティブ付与 → 購買行動変容の定量分析（参加者vs非参加者）

令和10年度（Lv3） 個人別介入実証 → 健康アウトカム改善評価

今年度の実証範囲 | 記事配信イメージ

← スクロールで全文を確認できます →



※掲載している記事内容・数値・グラフは参考イメージです。実際の配信内容は、購買データ分析に基づき精査のうえ決定いたします。

期待される効果

1 住民への効果

- ▶ 毎日の買い物の中に「健康なきっかけ」が届く
- ▶ 「届く→購買→また届く」継続サイクルが生まれる
- ▶ 押し付けでなく自然な行動変容をサポート

2 一宮市への効果

- ▶ 保健事業効果を「行動変化データ」で可視化
- ▶ 「感覚・経験依存からデータドリブンな施策へ転換
- ▶ 将来的にCKD等ハイリスク介入設計の基盤としての活用

3 地域経済への効果

- ▶ 健康推奨食品購入とインセンティブ連動（Lv2以降）
- ▶ 住民の健康行動と地元店舗来店が自然に結びつく
- ▶ 健康づくりと地域消費のWin-Win循環を創出

4 将来の研究基盤

- ▶ アカデミアとの連携・論文化へ
- ▶ 情報配信→行動変容（購買）→健康アウトカム
- ▶ 一宮市発の先駆的モデルとして全国発信可能